

はさみ

議会だより

No.127

平成26年8月号



たのしかねえ とうのう ～陶農 あそび学校(川内郷)～ 提供:波佐見町観光協会

- 6月定例会 **平成26年度一般会計補正予算ほか**…………… P2～5
- 一般質問 **町政を問う**…………… P6～8
- 委員会報告 **所管事務調査報告**…………… P8・9

平成26年第2回定例会

6月定例会は、6月11日から16日までの6日間の会期で開かれた。

今定例会は、26年度一般会計補正予算（第1号）と介護保険事業特別会計補正予算（第1号）のほか、固定資産評価審査委員会委員の選任に対する同意人事2件、4議案が上程され、審議の結果、全会一致で可決された。その他、25年度一般会計及び公共下水道事業特別会計歳出予算繰越明許費繰越計算書2件の報告を受けた。

また、町政に対する一般質問は、5人の議員が登壇し、政策を問うた。

**“当初予算に1億60,000千円を追加し、
総額55億47,000千円とする”**

【一般会計補正予算（第1号）の主な内容】

	＜歳入＞	
国庫補助金	1億10,614千円	がんばる地域交付金
県補助金	16,242千円	保育緊急確保事業費、海岸漂着物地域対策事業費など
繰越金	28,998千円	前年度繰越金
その他	4,146千円	農地中間管理機構委託金など
計	1億60,000千円	

	＜歳出＞	
交通安全対策費	6,350千円	町道ガードレール設置費など
児童福祉総務費	17,790千円	幼稚園長時間預かり保育費など
環境衛生費	2,000千円	不法投棄看板設置費など
水田農業対策費	3,458千円	農地流動化促進業務費など
住宅管理費	6,374千円	住宅性能向上リフォーム支援費
消防施設費	5,500千円	防火水槽設置費
保健体育施設費	118,000千円	鴻ノ巣グラウンド改良、及び甲辰園グラウンド照明改修工事費など
その他	528千円	統計調査費など
計	1億60,000千円	

【介護保険事業特別会計補正予算（第1号）の内容】

・当初予算に3,000千円を追加し、12億11,070千円とする。

〈歳入〉 繰越金 3,000千円…前年度繰越金

〈歳出〉 償還金 3,000千円…過年度分補助金等返還金

◆歳出予算繰越明許費の報告

・平成25年度一般会計及び公共下水道事業特別会計歳出予算に係る繰越明許費計算書の報告がされた。

【一般会計】	10億57,400千円…26年度に繰り越された額
--------	--------------------------

【特別会計】	43,000千円…26年度に繰り越された額
--------	-----------------------

『固定資産評価審査委員会委員の選任に同意』

現委員2名が任期満了となるため、新たに選任された委員2名に同意する。

・湯無田郷 太田正憲氏(再任)
(任期 平成26年7月1日～平成29年6月30日)

・甲長野郷 三岳利之氏(新任)
(任期 平成26年7月25日～平成29年7月24日)

※ 委員の役割は、固定資産の評価について納税者から審査の申し出があった場合、必要な調査や審査を行う。

平成26年第1回臨時会(会期5月2日)

第1回臨時会は、5月2日 1日間の会期で開会され、工事契約の締結1件、条例改正の専決処分の承認1件、25年度一般会計補正予算(第4号)、及び特別会計補正予算3件の専決処分の承認、合計6件の議案が上程され、可決された。

◆町営住宅鹿山団地建替工事請負契約の締結について

(工事概要) 3DK 12戸 1棟 ・ 2DK 16戸 1棟 他、駐車場、
自転車置場3箇所、ゴミ置場2箇所、プロパン置場2箇所

(契約額) 475,900,920円

(契約者) 上山・山栄建設工事共同企業体

代表者 ㈱上山建設 代表取締役 上山 誠

◆波佐見町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

(主な改正内容)

・法人税標準税率の引き下げ、及び軽自動車税の標準税率の引き上げ、新築住宅に係る固定資産税の税負担軽減措置の延長などが主なもの。

◆平成25年度一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について
（主な補正内容）

【歳 入】		【歳 出】	
町民税	33,530千円	役場庁舎建設基金	57,000千円
軽自動車税	1,000千円	コミュニティ活動基金	20,000千円
地方譲与税	▲ 3,528千円	ふるさと創生基金	45,000千円
配当割交付金	1,628千円	定住促進事業費	▲ 4,050千円
譲渡所得割交付金	4,428千円	社会福祉事業費	▲20,947千円
地方交付税	29,129千円	浄化槽設置事業費	▲ 5,292千円
国庫支出金	▲ 6,735千円	雇用対策事業費	▲ 9,411千円
県支出金	▲26,182千円	耕作放棄地交付金	▲12,400千円
寄付金	3,577千円	新規就農事業費	▲ 3,750千円
基金繰入金	▲ 9,000千円	県道整備負担金	▲ 5,850千円
諸収入	4,996千円	住宅建設費	4,071千円
町債	▲15,000千円	史跡管理整備費	▲ 5,235千円
その他	▲18,430千円	災害復旧費	▲17,005千円
		その他	▲26,131千円
計	16,000千円	計	16,000千円

25年度一般会計補正予算(第4号)の 専決処分の承認に対し、討論を行う

反対討論 百武辰美 議員

剰余金については、特に緊急性のない庁舎建設積立基金などに闇雲に積み立てるのではなく、起債の返済に充てるとか、町道整備など、もっと町民の生活向上のために有効な予算として使えたと考えられる。

また、庁舎建設基金条例第2条に「基金として積み立てる額は予算で定める」とある。計画的に予算に計上し、議会の議決を経て積み立てるべきものであり、反対する。

反対討論 太田一彦 議員

本町の脆弱な財政状況の中で、多額の税金を庁舎建設に使って良いものか、住民のコンセンサスが得られていない。他に優先して、予算を使うべきものがあるのではないかと。

また、人口減少が予想される現状で、新たな庁舎を建設することに住民の賛同・納得が得られるのか、全町的な議論が必要と考える。

しっかりとした計画を示した上で予算計上を行い、基金を積み立てることが望ましいので反対する。

反対討論 松尾道代 議員

「年度末に税や交付金が決定するため、年度内に使うことができず基金に」はあまりに安易で、しかも多額である。毎年、想定されることで、特に今年度は生活支援など、事業を計画すべきでなかったか。

庁舎建設基金は剰余金を充てるのではなく、当初予算に計上し「頑張って積み立てる」べきもの。

また、ふるさと創生基金も対象を明確にすべきであり、反対する。

反対討論 藤川法男 議員

平成25年度波佐見町一般会計補正予算第4号において、剰余金が1億2000万円が発生したことは、執行面で問題がなかったのか。

庁舎建設積立基金に5700万円、避難所となる公民館など支援するコミュニティ活動支援基金に2000万円は少なく、均衡がとれていない。

それに、将来的に行政に頼らず、自立を目指す方々の起業支援などに充てるべきではなかったのか。多額の庁舎建設基金など、上限を定めるべきであり、反対する。

◆専決処分の承認

《平成25年度会計別補正予算書》

区 分	補 正 額	補 正 後 の 総 額
一 般 会 計 (第4号)	16,000千円	63億78,000千円
特別会計		
国民健康保険事業 (第4号)	36,062千円	18億 3,709千円
介護保険事業 (第3号)	▲ 9,000千円	11億17,641千円
公共下水道事業 (第3号)	▲ 5,352千円	3億63,957千円

平成26年第2回臨時会 (会期6月30日)

◆南小学校校舎改修工事請負契約の締結について

(工事概要) 外壁改修、防水、天井・壁・内部床改修、便所改修工事など

(契約額) 131,668,200円

(契約者) 小佐々建設・田崎工務店建設工事共同企業体

代表者 (株)小佐々建設 代表取締役 小佐々 春 城

平成26年第3回臨時会 (会期7月11日)

●地方自治法の規定に基づき、波佐見町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行った結果、次の方を当選人に決定しました。

(選挙管理委員会委員)

鬼木郷 桑 村 利 規 氏
 金屋郷 中 山 陽 子 氏
 宿 郷 富 永 利 幸 氏
 永尾郷 小 柳 信 夫 氏

(選挙管理委員会補充員)

湯無田郷 福 嶋 徹 郎 氏
 岳辺田郷 山 口 津由子 氏
 折敷瀬郷 中 田 彰 氏
 宿 郷 池 田 真理子 氏

●農業委員会等に関する法律に基づき、波佐見町農業委員会委員に次の方を推薦しました。

田ノ頭郷 守 田 朝 雄 氏
 宿 郷 福 嶋 文 徳 氏

井石郷 森 林 秀 子 氏
 協和郷 安 永 恵 子 氏

賛 否 表

○賛成 ●反対 一欠席

議案番号	議 案	議決の結果	表決数 賛成:反対	議席番号														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
29	町営住宅鹿山団地建替工事請負契約の締結について	原案可決	12:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30,32~34	専決処分の承認を求めることについて(波佐見町税条例の一部を改正する条例 他平成25年度特別会計補正予算3件)	承認	12:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	専決処分の承認を求めることについて(平成25年度波佐見町一般会計補正予算 第4号)	承認	6:6	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
※議案第31号は賛否同数のため議長議決により、専決処分が承認された。																		
35-36	平成26年度 波佐見町一般会計補正予算(第1号)及び波佐見町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	南小学校校舎改修工事請負契約の締結について	原案可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



◎役場庁舎の建替え計画は
◎本町の「ゆるキャラ」の製作は



太田 一彦 議員

問 本町の役場庁舎は危険建造物なのか。

町長 地震に限ると、震度6程度で倒壊する可能性が高い危険建造物と判断する。

問 新たな庁舎建設は必要なのか。

町長 耐震診断の結果、地震に対し大きく劣り、また現行施設の改修は費用対効果の面からも効果は低く、新たな庁舎に建替えることが現実的である。

問 なぜ、庁舎建設をおおむね10年後とされているのか。

町長 庁舎の基金積み立てが一定期間必要であるとともに、10年後の電算システム改修と併せた方が、費用対効果が高いと判断した。

問 昨年6月議会で建設予算が12億13億円でないと答弁された。その根拠は。

町長 地方債を借り入れる場合、その対象となる面積は、職員数や議員定数などで算出する。

この方法により、臨時職員を含む職員数や議員定数から算出した数値が3千平方メートルである。

庁舎建設の単価については、各市町村で公表されている事例から、単価が1平方メートル当たり40万円前後である。これに面積を乗じて12億13億と試算している。

問 既存の施設を活用したり、分散化などをして、お金をかけない計画はできないか。

副町長 防災を第一に安全な庁舎を考えている。再利用できるところがあれば検討したい。

問 マスコットキャラクター（ゆるキャラ）製作費を50万円計上されているがどう進めるのか。

町長 7月から町内外に応募を呼びかけ、デザイナーの専門家を含めた選定委員会の中で絞り込みを行う。名称と併せて広く町民の皆さんの意見を聞き、11月をめどに取り組みたい。

◎女性起業家を育てるプログラムは考えられないか
◎若手芸術家への支援は



藤川 法男 議員

問 本町は窯業・農業が主産業で「陶器まつり」などでの焼き物の購入は90%が女性である。

町長 本年度は「観光立町元年」と唱えており、女性を中心としたプログラムも注目されると思うがどうか。

町長 陶農博では料理教室や農産加工品づくり、路地裏めぐりなど女性に活躍の場面が多いと思う。特に、プログラム作成では、積極的に参加していただいている。

問 観光は、交流人口から地域性を高め利益を生み出すことである。

全国農村女性起業家の第1位は食品加工、第2位は直売所での販売品加工であることから、女性起業家を育てるプログラムは考えられないか。

農林課長 先月、東京産直市で川内・野々川地区の女性3人が、PR販売を行った。この経験の中で、加工品作りやパッケージのデザイン・販売のスタイルなど、大変得

るものが多かったと感じられた。

問 本年度から波佐見高校に「美術・工芸科」が新設された。

今後、「アート」に対する注目度が増すと思う。

家賃や空き工場支援など条件次第では「若手芸術家」が定住する可能性があるが、将来的な対策はとれないか。

町長 改修費や家賃の支援などの施策は、陶磁器産業の関係者や芸術家に限らず行っていない。

今後は町内事業者への支援策との整合性や居住対策、さらに空家対策など、どのような支援が効果的か研究したい。





◎行政運営と住民サービスの対応は
◎「森のようちえん」活動の取り組みは

石峰 実 議員

問 ここ数年、定年退職者等が増加しているが、町行政運営への影響や業務遂行、予算の適正な執行等への対応は。

町長 本年度以降5年間の定年退職者は16人で、今後全て20歳代を採用した場合、50代が18%、20代が37%となり、均衡を欠く構成となる。

対応として分野ごとの専門研修や資質向上を図るとともに、25年度から自己評価とヒアリングも実施している。

問 住民本位で、心通いあう行政運営が望まれる。地域住民と一体となった業務遂行にどう対処するのか。各地区担当職員の配置制を設け、見聞を深める考えはないか。

町長 地域や住民のより身近な場面において、住民と一体となって対応していくことがベストだ。職員の地域担当制度は行政改革実施計画にも位置づけているが、現在まで制度導入に至っていない。

問 近年は、子ども達が野外で遊ぶ機会が減る中で、自然は感性や体力を養う場、学習の場として大事と言わ

れる。

鴻ノ巣公園の草木等に説明プレート設置や、豊かな野外保育など感性や体力を養う場の「森のようちえん」活動に取り組み考えはないか。

町長 幼少期の子ども達にとって、自然環境を活かした体験は大変重要な意識を持つもの。「森のようちえん」活動は北欧で生まれ、日本にも約150団体が活動されている。本町では鴻ノ巣公園などで、保育園や放課後児童クラブなどの野外活動等に活用されている。

問 「森のようちえん」活動の意義、必要性は十分理解するが、今後の「子ども子育て支援会議」の中で対応策を検討したい。

町長 遊具施設の周りに日陰の休憩場所が少ない。木立を増やせないか。駐車場を整備し利便性を高めてはどうか。

町長 安全確保のため、これ以上の植栽は支障をきたすと判断する。展望台登り口周辺の駐車場は、環境や危険対策等を十分検討する必要がある。

町政を問う



◎旧公会堂周辺の景観は
◎南島原市の官製談合事件、本町の対応は
◎どうする、少子化対策

松尾 道代 議員

問 旧公会堂の補修等の事業計画と、周辺の景観整備についての考えは。

町長 「耐震診断・補強計画」の中間報告に基づき、検討会を開催している。

早い段階で耐震、修復工事を行い、活用を図っていく。可能な限り現在の雰囲気や損なわれないような工夫で考えており、登録文化財等と一体的に活性化へ繋げたい。

問 建物移転の換地を、中央小跡地にされているが、歴史的建造物の旧公会堂のそばに新築住宅はおかしい。景観委員会では議論されたのか。

建設課長 西ノ原地区の景観計画案は挙がっているが、区画整理事業と景観事業は全く別のものである。

問 南島原市の官製談合事件で逮捕の事業者は、本町でも指名競争入札で落札、工事をされている。この事業者への今後の対応は。

町長 長崎県から指名停止7か月の通知があり、本町も対応を協議し、県に準じ7ヶ月の指名停止とした。

問 本町では、電気・機械

設備工事は年2回程度。次回工事が、7か月の処分期間後となれば、処分にならないのではないか。また、故障時はどうするのか。

副町長 県に倣い7ヶ月とするが、今後はこの処分事実を勘案し、指名していく。
水道課長 この事業者しかならない修理なら依頼することもある。

問 公共工事は、設計図書を作成し入札参加事業者に示す。これに従い、入札するならば、全ての参加事業者は工事も修理も可能ではないか。

水道課長 その業者にしかできない工事があり、ご理解願いたい。

問 日本創生会議の推計によると、2040年、都市部への人口流失に伴う20〜39歳の若い女性の減少で、全国8%市町が消滅の危機にあると発表された。

現段階では本町は入らないが、これまで以上の少子化対策が必要と思うがどうか。

町長 国レベルでの対策が必要。本町においては様々な対策と支援を行ってきた。



- ◎長崎国体への取り組みは
- ◎米の消費拡大・農政の展望は
- ◎伝統工芸士などの技術継承の考えは

中村 與弘 議員

一般質問

問 長崎国体に天皇陛下が行幸される際に、県産品である波佐見茶や波佐見焼を献上する考えはないか。

町長 県の行幸啓室に確認したところ、長崎がんばらんば国体への陛下の行幸啓は現時点では決定されていないとのこと。

決定すれば他県に倣い対応したいとのことであり、献上したいとしても品名等は公表しないとのことである。

問 長崎国体に対する町の取り組みは。

教育長 県北地区対象にデモンストラクション競技として、グラウンドゴルフを9月28日に鴻ノ巣および南小グラウンドで開催する。

炬火は全市町が火おこしをし、9月初旬にその火を集め、国体開会式で炬火台に点火することにしている。

問 米の消費拡大に対する町の考えと今後の農政の展望について、自治体として具体的な取り組みをすべきと思うかどうか。

町長 国内の米消費量は年々減少し、主食用米の国内在庫は膨れ上がっている。一方パ

ン等の消費が伸び、食生活の変化で様々な問題が起こっていることから、米中心の食生活の推進をする必要がある。

ご提案の米粉を使用したパン等は、いまだ広い普及にまで至っていないが、学校給食の一部には米粉パンを利用している。

今後、地場産米の消費拡大につながるような取り組みを進めたい。

問 陶磁器業界の伝統工芸士の技術が途絶えていくことが懸念されている中で、親方制度やギルド方式を取り入れ技術継承のため、中学校で取り組む考えはないか。

教育長 親方制度やギルド方式の徒弟制度の導入は、義務教育では大変厳しいものがあると思う。伝統工芸士等主催の陶芸教室などへの募集・案内等の協力はできる。



所管事務調査報告

企業誘致雇用対策特別委員会

6月23日

波佐見町営工業団地における企業誘致の進捗状況や県内における企業誘致の状況について長崎県産業振興財団及び町商工振興課からの説明を受けた。

◆波佐見町営工業団地について

工業団地のPRを兼ねて、立地動向調査をアンケート形式で4回行った。その結果、回答が10%未満から26年度には、13%になった。以前は設備投資・用地買収の回答はなかったが、最近では、「前向きに検討する」が、少しずつ増え、投資に対する意欲が若干出てきた感じがする。

◆県内企業誘致の状況について

△メリット性▽

・人材確保が容易

長崎県には、国立大学等8校、短大2校があり、高い水準の教育を受けている。また、高校77校、国立工業高等専門学校、専修学校からも毎年多くの優秀な人材が輩出されている。

・有効求人倍率の低さ

東京都1.53、愛知県1.56、大阪府1.09など全国平均1.08で長崎県は、0.81で求人する企業側としては、有利な状況である。

・地理的インフラ

(地震津波対策)

今後30年間において震度6弱以上の地震が発生する確率は長崎市が全国で2番目に低いと推定され、太平洋岸に比べると、津波の発生率規模ともに、低いと予想されている。また、台風や豪雨災害も九州の中では少ない状況である。

△まとめ▽

企業訪問の事前の調査で、波佐見町営工業団地の単価が、1平方メートルあたり、13,000円～15,000円に対し、北関東でも10,000円以下であり、高速のインターチェンジ周辺でも、6,000円から8,000円で販売されている。

企業の最終的な判断は、優遇制度、補助金制度となる。

本町においても、他の工業団地と同等の条件にすることが必要とされる。

所管事務調査報告

総務文教委員会

4月25日

予算の適正な執行等について、関係課から説明を受け調査を行った。

◆振興実施計画について

振興実施計画は、向こう3年間の事業計画を仮想的に予算組みしている。対象事業は、ハード事業500万円以上・ソフト事業100万円以上。毎年度財源等の確保・見通しがついたものや、必要性の高いものから実施年度が決定されている。

計画は町の基本計画等に沿ったものかなどの基準で、妥当性や効果を判断し決定され、財源が確保されたものから優先順位をつけている。

また、5年間の中期財政計画では、企業誘致等により税収増が盛り込まれているが、財政基盤は脆弱な状況である。

庁舎建設基金積立に関し、「余剰財源が発生した場合、最優先にした」との説明だが、本計画には計上されていない。



改修予定の東小プール

この調査で、財政基盤は依然として地方交付税に頼っている脆弱な状況であるにもかかわらず、庁舎建設基金等に多額の積み立てをしているのは、予算執行の在り方に疑問を感じる。

5月20日

◆自治会の現状について

自治会の加入率は、平成26年4月現在、人口15,199、世帯数5,096、行政資料配布世帯数4,465で、名目加入率は87%となっている。近年アパートや賃貸住宅に居住する人が増え、自治会未加入のケースが増加している。

未加入の理由では、「煩わしい」「特に困らない」「会費負担」などがあげられる。自治会未加入の問題はアパート等に入居されている方の対策をどうするのかが「カギ」となる。行政情報が届かない等の課題では、町ホームページやケーブルテレビなどで一定の情報を得られていると推測される。

人口減少で自治会自体の存続が危うい中で、定住人口促進策を講じてもすぐに効果が得にくい。自治会の現状では活動や未加入問題等など山積している。

自治会は任意団体であり、行政は活動等に強制力を持たないが、今後未加入問題には丁寧な対応が求められる。

産業厚生委員会

4月4日

下水処理水の上流域への還元に関する陳情について、陳情団体代表の立ち会いのもと現地調査を実施した。

現地調査後、陳情の取り扱いについては、引き続き調査・研究して行くこととした。

4月16日

平成26年度以降の水道事業関係、及び「観光立町元年」と位置づけた観光事業計画について、関係職員の出席を求め、調査を行った。へまともV

◆上水道事業について

人口減少が進む中、事業経営の健全化を図るため、有収水量の確保と維持管理業務の効率化等に努める必要がある。

◆公共下水道事業について

今後の事業計画等の見直しを図るため、下水道への接続を促進する必要がある。

◆工業用水道事業について

また、波佐見テクノパークへの供給量が少なく、経営は他会計からの補助に依存しており、早急な町営工業団地への企業立地を進め、用水供給が図られることが望まれる。

◆合併処理浄化槽設置事業について

これまで、1231基設置されているが、公共用水域の水質浄化のため、下水道区域外を対象に、補助金上乘せ制度の周知を図り、更なる設置促進を図る必要がある。

5月9日

◆観光事業について

13年度「来なっせ100万人」をキヤッチフレーズに掲げ、波佐見焼のブランド化や各種イベントの開催など、交流人口の拡大が図られ、町の知名度もアップし、今や約82万人の観光客が訪れるようになった。

今後、宿泊施設や民泊などを活用した体験プログラムなどを強化し、目標の100万人達成に向けて、更なるPR活動などに努める必要がある。



てびねり・ろくろ体験

県下町村議会議員研修会

7月7日、県下町村議会議員研修会が、長崎市で開催された。

東京新聞・中日新聞論説副主幹でジャーナリスト・作家の長谷川幸洋氏が「日本の行方」政局・政治展望」と題し、講演された。

テレビでもコメンテーターとして活躍されている長谷川氏の語り口は、ストレートな表現でわかりやすい内容であった。

政局・政治にまつわる様々なこと、「集団的自衛権」「拉致問題」「靖国問題」「憲法改正」「TPP」「今の各政党について」など、日本の行方を考えさせられる内容の講演であった。

その後、小値賀町議会より「受け身のな議会から自ら行動する議会へ」と、佐々町議会より「佐々町議会が目指すもの」と題し、議会活動の紹介があった。



講演される長谷川幸洋氏

議員活動

- | | |
|------|--|
| 5月1日 | 陶祖祭 |
| 2日 | 町議会第1回臨時会 |
| 9日 | 西九州自動車道建設促進期成会定期総会(伊万里市) |
| 16日 | 産業厚生委員会 |
| 17日 | 自衛隊父兄会大村東彼地区協議会定期総会(大村市) |
| 19日 | 全員協議会 |
| 20日 | 総務文教委員会 |
| 22日 | シルバー人材センター通常総会・運営委員会 |
| 27日 | 長崎県総合防災訓練(佐世保市) |
| 6月1日 | 東彼杵地区保育会総会 |
| 2日 | 議会運営委員会 |
| 3日 | 産業厚生委員会 |
| 8日 | 波佐見町母子寡婦福祉会総会 |
| 9日 | 長崎県西九州自動車道建設促進期成会定期総会(佐世保市) |
| 9日 | 長崎新幹線・鉄道利用促進・空港活性化推進、上海航路利用促進協議会(長崎市) |
| 13日 | 川棚地区防犯協会連合会定期総会及び暴力追放運動推進協議会定期総会(川棚町)議会運営委員会 |
| 20日 | 企業誘致雇用対策特別委員会 |
| 23日 | 波佐見町観光協会総会 |
| 26日 | 長崎県中央農協通常総代会(諫早市) |
| 27日 | 議会広報調査特別委員会・全員協議会 |
| 30日 | 町議会第2回臨時会・議会運営委員会 |
| 7月1日 | 議会広報調査特別委員会 |
| 4日 | 東彼杵郡町村会主催肉牛共励会(佐世保市) |
| 7日 | 波佐見町温泉振興会総会 |
| 8日 | 長崎県町村議会議員研修会(長崎市) |
| 9日 | 議会広報調査特別委員会 |
| 11日 | 産業厚生委員会 |
| 14日 | 町議会第3回臨時会 |
| 15日 | 議会広報調査特別委員会 |
| 16日 | 長崎県戦没者慰霊奉賛会定例評議会(長崎市) |
| 17日 | 全員協議会 |
| 18日 | 産業厚生委員会行政調査(18日 福岡県山口市) |
| 22日 | 東彼杵郡森林組合 通常総代会(川棚町) |
| 25日 | 波佐見町戦没者慰霊奉賛会理事会 |
| | 西九州北部地域開発促進協議会総会及び特別講演会(伊万里市) |
| | 大韓民国康津郡訪問(27日) |

No.126号の記事に一部誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

1ページ 波佐見駐在所前 → (正)波佐見交番前 6ページ ファンド事業1,250万円は → (正)ファンド事業125万円は

平成26年第3回定例会は、9月下旬からの予定です

編集後記

日本人は、四季の移ろいを感じながら生活しています。春夏秋冬 町も、その表情を変え、天候によっても別の姿を見せてくれます。「議会だより」も移り行く季節を追うように年4回発行し、議会から見た町の変わり行く姿を伝えています。

前号で、紙面の変更を試みましたところ、早速、皆様からのご意見をいただきました。このように「議会だより」に対し、関心を持って読んでいただくことから、開かれた議会を育む、新たな対話が生まれると思います。これからも「議会だより」を愛読いただき、皆様の声をお聞かせください。よろしく願います。



議長	川田保則
委員	古川千秋
副委員長	藤川法男
委員	尾上和孝
委員	石峰尊実
委員	中尾辰美
委員	百武辰美

議会広報調査特別委員会